



■ 株式会社大阪工作所
会長 高田 克己氏

10代で入社し、会社再建後の1986年に社長に就任。地域と連携し、小・中・高校生や大学生の工場見学やインターンシップ・職業体験を主導する。



対談を終えて、シューズ・ミニッシュさんの工房で

するなど仕事を超えた関係を深める場を設けています。

高本 ■ 当社も忘年会は、協力いただいた会社や職人すべてを招待して盛大にやりますよ。2014年の忘年会は140名も集まっていたいただきました。おじいちゃんぐらゐの歳の職人さんが「儲けさせてもらいました」と喜色満面に言ってくれたのは、うれしかったですね。僕や当社が考える靴作りへの思いを伝え対話ができるようになり、「一緒にいい靴を作りましょう」と思いをひとつにできたかな、と。街の課題は、街の中で解決できるんですよ。

高田 ■ そのとおりです。東大阪はものづくりの街として有名ですが、実際のところ中小企業が大半で、廃業が多いという問題も抱えています。そこで地元の布施北高校と協力し、高校生が地元企業で「コミュニケーション力」と「人間力」を学ぶ「デュアルシステム」を実施。さらに「25歳青年社長プロジェクト」と称し、企業家を目指す若者を地元から輩出する活動を始めています。大きな地域ではなく、自転車で行ける範囲の地元を元気にすることから始めるべきだと思っています。

高本 ■ そうですよ。いち企業、いち個人が日本全体や大阪府を元気にするのは難し



くても、地元なら同じ思いを持っている仲間を見つけ、ムーブメントを巻き起こすことができると思います。

従業員も取引先も、そして地域で育つ若者も元気にしたい

高本 ■ 地元の公民館などで、親子でオリジナルシューズを作るイベントをやりたいです。一人でも靴づくりの楽しさを知ってもらい、靴作りをやってみたいと思う人が増えればと。会社としては当社の靴ブラン

ドを世界中に発信していきたい。日本の靴は?と聞かれたときに、すぐに思い浮かべてもらえるような‘made in JAPAN’の靴を作り続けたいと思います。

高田 ■ 当社は「企業を魅せる＝すべてを見せる」というポリシーを掲げ、現場も技術も品質管理もすべて公開しています。見られることで技術力が向上し、社員のモチベーションも、顧客の信頼度もあがります。従業員も取引先も、地域も、そして地域で育つ子どもたちも元気で育っていけるような企業でありたいと思います。

株式会社 大阪工作所

工作機械や産業機械の製作、部品加工などを行う。高精度加工技術を生かし、川崎重工の認定工場としてボーイング 777・767などの旅客機やロケット、ヘリコプター、哨戒機、輸送機等の航空機部品も製作。

大阪府東大阪市中野南 1-34
TEL.072-962-1515
<http://www.osaka-kousaku.co.jp/>

有限会社 シューズ・ミニッシュ

[Re:getA] [porma-ma] [Regetta Canoe]のオリジナルシューズブランドを企画・製造・販売。卸売をはじめ、自社サイトと楽天ショップ (AltoLibro)、通販などで小売りも行う。

大阪市生野区巽西 1-9-24
TEL.06-6755-2430
<http://www.mini-shu.com/>